

平成 23 年度事業計画

1 : 事業

- (1) 国民に対する糖尿病知識の普及・啓発
- (2) 糖尿病対策国際協力事業の推進
- (3) 国連「糖尿病決議」普及の為の推進事業
- (4) 4 団体(医師会・歯科医師会・学会・協会)糖尿病対策連携強化推進
- (5) 都道府県糖尿病対策の強化実行
- (6) 刊行物及び糖尿病治療のための啓発事業の実施
- (7) 登録医・療養指導医制度の推進
- (8) 歯科医師登録医制度の推進
- (9) 会員増強対策の推進(イ：本部会員の増強 ロ：支部「友の会」の推進)
- (10) 企業等民間団体との連携強化
- (11) 新公益法人移行認定申請
- (12) 災害等緊急時に係る危機管理体制の構築

2 : 会議の開催

総会をはじめとした各会議を次の通り開催し、必要な審議を行うと共に本会事業の決裁を行う。

- (1) 総 会 通常総会の他、必要に応じて臨時総会を開催する。
- (2) 理 事 会 年 2 回定例会のほか、必要に応じて臨時理事会を開催する。
- (3) 役職理事会 適宜に開催する。
- (4) 支部長会議 年 1 ~ 2 回開催する。
- (5) 各種委員会 協会事業の企画、立案及び推進の為、各内務委員会並びに各事業委員会を開催する。

3 : 糖尿病の予防及び治療に関する知識の普及・啓発活動

- (1) 『糖尿病ライフさかえ』の発行
月刊の協会誌として、患者、家族、糖尿病予備群および療養指導者に対する糖尿病の正しい知識の情報提供と啓発を行う。
- (2) 療養指導者向け雑誌の発行
糖尿病療養指導者(主に日糖協登録医、歯科医師登録医、コメディカルスタッフ)を対象とする糖尿病治療の最新情報を提供する雑誌の創刊準備を行う。協会の準機関誌的な役割を強め、コメディカルスタッフや登録医育成に役立つ雑誌を目指す。創刊は、24 年 4 月を予定する。
また、新雑誌とリンクする形で、医療従事者のためのウェブサイトを構築し、情報発信と共有を図る。
- (3) 全国糖尿病週間の実施
11 月 14 日を含む週を全国糖尿病週間とし、社団法人日本糖尿病学会との共催で、厚生労働省、日本医師会、日本放送協会、日本糖尿病財団、日本歯科医師会の後援を得て、全国各都道府県支部を中心に糖尿病に関する講演会、血糖測定、医療相談、栄養相談の事業を実施する。
- (4) 啓発活動の展開
 - ・糖尿病シンポジウムを開催(岡山・埼玉)するほか、マスコミ(新聞・ラジオ)の協力を得て、糖尿病に関する正しい知識の普及啓発を行う。
 - ・ヘモグロビンエーワンシー(HbA1c)認知向上運動を新潟で実施する。
 - ・市民向けの糖尿病予防や運動療法に関する講習会を実施する。

(5) 療養指導の推進

- ・日本糖尿病協会登録医・療養指導医制度並びに日本糖尿病協会歯科医師登録医制度を推進し、専門医とかかりつけ医、歯科医師との連携強化を図る。
- ・日本糖尿病療養指導士認定機構との連携を強化し、コメディカルスタッフの組織化や教育システムの構築を行う。
- ・各地で養成がすすむ「地域療養士(LCDE)」の実態把握を行い、連携や標準化のための枠組み作りを検討する。
- ・IDFが推進する糖尿病教育用「糖尿病カンバセーション・マップ™」の普及を図る。カンバセーション・マップ™を使用して療養指導を行うスタッフを育成するための進行役トレーニングやフォローアップ講習会などを全国で展開する。
- ・糖尿病療養指導の質を高めるため、療養指導の現場で活用できる新しい教材を開発する。
- ・糖尿病重症化予防の為にフットケアについて、日本糖尿病教育看護学会の協力のもと、講習会を開催する。
- ・糖尿病連携手帳の普及を促進する。
- ・糖尿病関連書籍(糖尿病食事療法のための食品交換表、糖尿病食事療法のための食品交換表活用編、糖尿病性腎症の食品交換表、糖尿病治療の手びき)を発行する。

(6) 糖尿病予防キャンペーンの実施

日本糖尿病財団との共催により、糖尿病予防キャンペーンを沖縄県で開催する。

(7) IDF(国際糖尿病連合)糖尿病対策キャンペーンの推進

11月14日「世界糖尿病デー」において、日本糖尿病学会・本協会が構成する世界糖尿病デー実行委員会に協力し、各地での糖尿病知識の普及啓発活動を推進する。

(8) 小児糖尿病対策

- ・小児1型糖尿病患者に正しい治療を習得・実践させるために、小児糖尿病生活指導講習会(サマーキャンプ)を日本財団の補助金を受けて開催する。
- ・「第10回全国ヤングDMカンファレンス」を広島県で開催し、協会活動における若手の育成や各支部内外における若い世代の活動の活性化と連携を図る。
- ・小児期発症以外の1型糖尿病患者に対する支援策を実施する。
- ・小児2型糖尿病対策として、患児と保護者を対象とする講習会を実施する。
- ・小児糖尿病サマーキャンプ情報交換を通じてレベルアップを図るため、全国のキャンプ実施責任者の会議「サマーキャンプカンファレンス」を開催する。

(9) 会員増強対策

日本糖尿病協会の会員増強の活動を継続推進する。

(10) 糖尿病に関する調査研究の推進

疫学研究・臨床研究を実施する。

- ・インスリンアナログ混合製剤1日2回投与あるいは持効型溶解インスリンアナログ製剤1日1回投与によるインスリン導入の検討
 - ・経口糖尿病治療薬(インクレチン関連薬を含む)投与に関する実態調査研究(UNITE Study)
 - ・65歳以上の高齢者2型糖尿病における、シタグリプチンあるいはグリメピリドによる有効性および安全性に関する比較検討試験 (START-J)
- インスリン注入器の仕様共通化および血糖自己測定機器も含めた適切な使用手技の普及に向けた活動を進める。

(11) 国際交流

- ・ドバイで開催予定のIDF Congress 2011に参加し、国際交流を図る。
- ・日本糖尿病協会の活動を海外に紹介する英文パンフレットの改訂を行う。
- ・IDF Congress 2011にあわせ、ドバイの糖尿病患者会との交流を目的とする患者交流ツアーを実施する。
- ・日本糖尿病学会と連携し、IDF・WPR Congress 2012 in Kyotoの開催準備を行う。
- ・IDF・WPRが実施するアジア地域のフットケア事業に協力する。

- ・国際糖尿病基金を用い、IDF-WPR、AASD の活動を支援すると共に、アジア地域をはじめ諸外国での調査研究を含めた糖尿病対策推進に寄与する。

(12) ホームページの活用

糖尿病患者、予備群、一般市民、医療従事者に対し、糖尿病の正しい知識の情報発信を行うとともに、協会事業、入会の案内等の情報を掲載し、日本糖尿病協会の認知度向上を目指す。

(13) 糖尿病療養グッズの頒布

糖尿病連携手帳、自己管理ノート、IDカード、英文カードの製作・頒布を行う。

(14) 50周年記念事業

記念式典および懇親会を6月4日、都市センターホテル（東京都）にて挙げる。

(15) Team Diabetes Japan での活動

マラソン大会等への参加を通じて、糖尿病の予防や治療についての知識啓発を行う。

(16) その他収益事業に組み込まれている諸事業については、継続して行う。

4. 新公益法人移行認定作業

本年度中に公益認定申請を行い、平成24年度からの公益社団法人化を目指す。また、支部の都道府県糖尿病協会への移行についても支援を行う。

その他

事業計画に記載のない事業を実施することになった場合は、理事会の承認を得ることとする。この場合の本事業に伴う経費は予備費で補う他、補正予算または特別会計とする。